



		計画時の想定		現時点での状況（変更点）	分析
			備考		
事業効果の定量的分析	費用便益分析	計画時点では費用便益の分析手法が確立されておらず、算出していない。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <math>B / C = 1.37</math></li> <li>総便益 B = 12.3 億円</li> <li>総費用 C = 9.0 億円</li> <li>算出根拠 国土交通省河川局河川計画課監修 「治水経済調査マニュアル」 国土交通省河川局砂防部 「土石流対策事業の費用便益分析マニュアル」</li> </ul>	本事業の整備による事業効果が期待できる。
	その他の指標（代替指標）				
事業効果の定性的分析	安全・安心	土砂災害による被害の軽減が図れる。	・ 受益者など 地域住民	変更点特になし	工事進捗どおり土砂災害による被害の軽減が図れている。
	活力				
	快適性				
	その他				
自然環境等への影響と対策	周辺の自然環境に配慮し、できる限り自然石を用いた護岸を採用。		変更点特になし	自然石等により、周辺の自然環境に整合した整備となっている。	
その他特記すべき事項					